
▲会場には、地元グルメを満喫する多くの来場者の姿が見られました

地元の食や伝統文化を満喫
古河関東ド・マンナカ祭り

10月10日・11日、イーエス中央運動公園で古河関東ド・マンナカ祭りを開催し、約4万人が来場しました。

多くの地元店、企業、団体の出店に加え、特設ステージでは子どもたちによるダンスや吹奏楽演奏などで会場が盛り上がりました。2日目の「民俗芸能のつどい」では、地域に伝わるお囃子（おはやし）などが披露され、両日とも多くの来場者でにぎわい、活気にあふれた2日間となりました。


▲「家族の気遣いも長寿の秘訣」と感謝を語る田中さん

100年の歩みに敬意
敬老祝い金を贈呈

市では長寿を祝し、敬老祝い金を贈呈しています。今年度は、77歳・88歳・100歳と男女最高齢者、2,888人が対象となりました。

9月20日に針谷市長が、今年度100歳を迎える皆さんを訪問し、お祝い金と記念品を贈呈。長寿の秘訣を聞かれた田中ヒデさんは「毎日栄養のあるものを3食取り、やれることは自分でやることですね」と笑顔で話してくれました。

景観を楽しみながらまち巡り
出城ノモリ〜みんなのMarket〜

10月4日に古河駅西口エリアで、わくわくワークに参加した市民が作り上げた「出城ノモリ〜みんなのMarket〜」を開催しました。

今回は規模を拡大し、雑貨の販売やキッチンカーの出店に加え、体験や発表など趣向を凝らした企画を実施。来場者は、趣のある街並みと風情を感じながら散策を楽しんでいました。


▲出店や情緒あふれる景観を楽しみながら散策する来場者

受け継がれていく神々の舞
古河市民文化祭「古河永代太々神楽（えいだいだいだいかぐら）公演」


▲万物を生成する神々の舞「五行（ごぎょう）の舞」を披露

9月26日、山水はなももプラザで古河市民文化祭「古河永代太々神楽公演」を開催しました。

古河市無形民俗文化財、茨城県指定無形民俗文化財として認定され、300年の歴史を持つ古河永代太々神楽。きらびやかな屋台の上で、子どもたちが太鼓と笛の演奏に合わせた優美かつ力強い舞を披露し、観客を魅了しました。

認知症になっても自分らしく
「オレンジ・ランプ」上映会＆認知症に関する講演会

9月12日にユーセンターKI防水で、実話を基にした映画「オレンジ・ランプ」の上映会と講演会を開催しました。講演会では、52歳の時に認知症と診断された平みき氏が、自身の体験談や笑顔で暮らすための秘訣などを講話。参加者は、認知症との向き合い方や、認知症になっても安心して暮らせる社会の在り方について理解を深めました。



▲参加者からの質問に実体験に基づいた視点で答える平氏

仲間と一緒に全力投球！
古河市子ども会秋季イベントドッジボール大会


▲勝利のための一球を投じる児童

9月12日、イーエスはなももも体育館で古河市子ども会秋季イベント「ドッジボール大会」を開催しました。

当日は、市内小学校の低学年(1〜3年生)と高学年(4〜6年生)の21チームが参加し、優勝を目指して熱戦を披露。児童たちが全力投球をする姿に、客席からは多くの声援が送られました。